

お客様保管用



Mies EV PORT S 施工説明書

第 1 版
2023 年 4 月

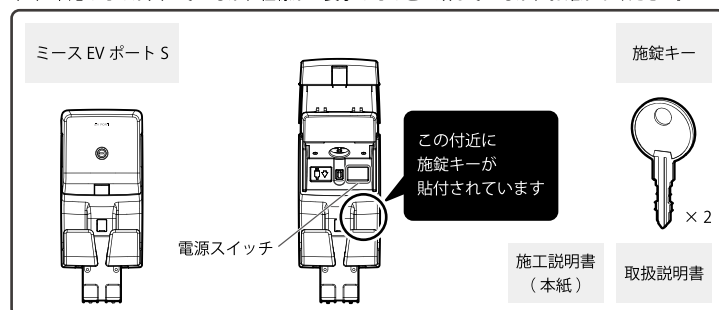
このたびは、“ミース EV ポート S”をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本施工説明書では電気自動車とプラグインハイブリッドを EV、コントロールボックス付き充電ケーブルを充電ケーブルと記載しております。
- 施工前にこの施工説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
 - 本施工説明書に記載されていない取り付けまたは取り扱いをされた場合事故や故障の責任は負いかねますので、ご了承ください。
 - 本施工説明書は、別紙『取扱説明書』とともに大切に保管してください。

施工前に

施工前に丁寧に開梱し、次の点をお確かめください。異常がございましたら、購入元にご連絡ください。

- (1) 輸送中の事故などにより、製品が破損していないかお確かめください。
- (2) 開梱したときに水濡れがないことを確認し、お使いください。
- (3) 下記のものが入っているか、仕様をご要求のものと同じになっているか、お確かめください。



●販売元
株式会社 **ユニゾン** 〒473-0925 愛知県豊田市駒場町藤池17番1
HPアドレス <http://www.unison-net.com>

施工上のご注意

必ずお守りください

施工にあたってのお願いです。以下を必ずお読みいただき、お守りください。

- 施工説明書にしたがって、施工をおこなってください。
- 施工説明書は大切に保管してください。
- 本施工説明書に記載されている仕様をはじめとする各事項は、予告なく変更することもございます。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。施工前によくお読みください。

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害は次のように想定されます。それぞれの表示と意味を区別して、説明しています。

⚠ 警告	死亡または重傷の発生が想定される内容です
⚠ 注意	中程度の障害や軽症の発生または物的損害のみが想定される内容です

■ お守りいただく内容を次の絵表示で区別して、説明しています。

🚫	してはいけない禁止している内容
🛑	必ずしなければならない強制的内容

⚠ 警告

- 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。
- 内線規程等の法規を遵守して正しい工事をおこなってください。
- 工事・点検時は主幹ブレーカを必ず切ってください。感電や短絡事故の恐れがあります。
- 正しい配線工事をしてください。
- 誤結線があると発火、感電、故障の原因となります。
- 配線は適合した電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱、火災の恐れがあります。
- 接地線は接地端子に確実に接続してください。接地工事に不備があると、感電の恐れがあります。

⚠ 注意

■ 設置環境は下記条件でご使用ください。

設置場所	屋外用 壁掛型
標高	2000m 以下
周囲温度	-10 ~ 40℃ かつ、24 時間の平均値 35℃ 以下

- 結露は内部機器に影響のない程度とする
- プレーカの操作が容易にできる場所
- 氷雪によりドアの開閉に影響がでない場所
- 壁に対して、外部に起因する振動がない場所
- 周囲の空気中の塵埃、煙、腐食性・可燃性の気体、蒸気および塩分による汚染が発生しない場所

■ 電源・負荷の配線は相・線式・電圧・容量をご確認のうえ、施工してください。発熱、火災、故障の原因となります。

■ 電源側、負荷側等の表示があるブレーカの負荷側には電源をつながないでください。発火、感電、故障の原因となります。

■ プレーカの負荷側回路で短絡事故が起きた場合は、ブレーカの取り替えをしてください。

■ 本体への通線穴加工時、内機に切粉やゴミがかららないよう養生の処理をしてください。

■ 切粉やゴミがかかると感電、故障の原因となります。施工後は切粉やゴミを完全に除去してください。

■ 盤内に虫（ゴキブリ・アリなど）の侵入の恐れがある貫通部には、防虫対策をおこなってください。

■ 虫（ゴキブリ・アリなど）が侵入すると感電、故障の原因となります。

■ 本体を堅牢に取り付けてください。

■ 盤の自重により壁面から脱落する恐れがあります。

■ 水の浸入の恐れがある貫通部には、防水処理をおこなってください。

■ 内部に水が入ると漏電、故障の原因となります。

■ 本体背面は凹凸のある場所を避けて、アンカーボルトなどで確実に壁面へ固定してください。固定が不十分な場合は部品が外れ、落下するなど事故の原因となります。

■ 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実におこなってください。

■ ドアをもって運ぶと本体から外れて落下する可能性があるため、おこなわないでください。

■ ねじ部品は締め過ぎないようにご注意ください。締め過ぎますと部品の破損事故の原因となります。

■ コーキング処理のとき、コーキング材は本体フレームの線にそってのみ出さないように、おこなってください。コーキング材が厚い状態で本体を取り付けると、本体の取り付けができなくなります。また無理に取り付けた場合、破損する恐れがあります。

■ 本製品の上部に別の機器を設置する場合は、本体上部 200 mm 以上、本体正面は充電操作が可能なスペースをあけて設置してください。ドアが 90 度開放されるため、上部に障害物があるとドアが開かなくなります。

各部の名称とはたらき

- ① シリンダーキー**
付属のキーをシリンダーキーに差し込み、90 度まわします。シリンダーキーが縦のときは施錠、横のときは解錠となります。
- ② ドア**
ドアの両端にある突起部を持ち、ドアを開閉します。
⚠ 注意 ドアを開閉するときは、必ず突起部を持ち、手を挟まないよう、十分にご注意ください。
- ③ ケーブルホルダー**
ケーブルをひっかけることができます。
- ④ EV 充電用コンセント (以下 充電コンセント)**
EV の差込プラグを接続します。適用するプラグは EV 充電用 20A 250V 専用です。※他の差込プラグは絶対に使用しないでください。
EV 充電用差込プラグ (20A 250V)
- ⑤ 電源スイッチ**
電源を「入/切」します。
- ⑥ リリースボタン**
差込プラグを充電コンセントから取り外すときに使用します。
- ⑦ コントロールボックス固定金具 (以下 固定金具)**
充電ケーブルのコントロールボックスサイズにあわせて固定位置を調節することができます。

外形図

本体両側面
フックアウト
サイズ: φ22

本体下側面
フックアウト
サイズ: φ13

2-アンカー
取付孔位置

単位: mm

設置が可能な高さスペース

ミース EV ポート S の設置には、下図に示すようなスペースを確保してください。

単位: mm

充電操作が可能な空間

200 以上

90 (※1)

900 ~ 1200

※1 基台上端からコンセント中心

コンセント部が、地上 90 ~ 120 cm の高さに本体を取り付けることをおすすめしています。またドアは上まで完全に開けて操作するため、本体上部 200 mm 以上、本体正面は充電操作が可能なスペースをあけて設置してください。

1. 設置準備

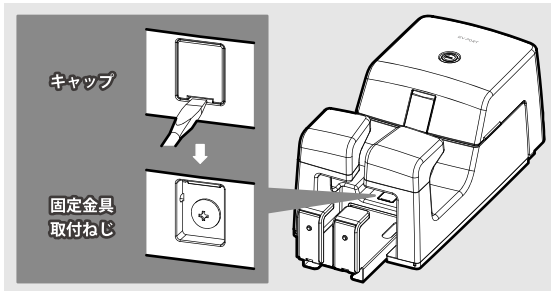
① 本体の取り外し

本体フレームから本体を取り外します。

△注意 持ち上げた状態で取り外すと、本体フレームが脱落する恐れがあります。床など平らな場所にミース EV ポート S を置き、本体を取り外してください。

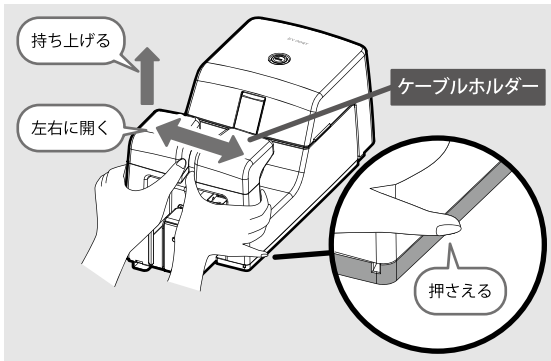
1 固定金具取付ねじを取り外す

- ① 本体中央にあるキャップの下部の隙間にマイナスドライバーなど先が細いものを差し込み、上に押し上げながらキャップを取り外します。
- ② 本体中央の固定金具取付ねじを取り外します。
※取り外した固定金具取付ねじとキャップは、固定するときに必要です。紛失しないよう、ご注意ください。



2 本体を取り外す

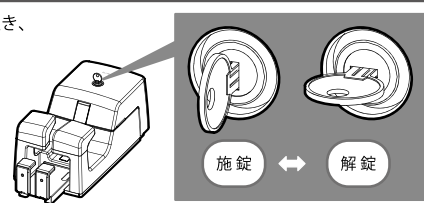
ケーブルホルダーを両手で持ち、本体フレームを押しさえながらゆっくり上に持ち上げます。



② 施錠キーの確認

ケーブルホルダー付近に貼付されている付属の施錠キーでドアが解錠・施錠することをご確認ください。また施錠キーおよびシリンダーキーまわりに鍵番号が記されています。施工前に施工説明書と取扱説明書に鍵番号を記入してください。
※鍵番号は、施錠キーを紛失した場合に必要となります。

ミース EV ポート S を床に置き、付属の施錠キーをシリンダーキーに差し込み、90度まわします。シリンダーキーが縦のときは施錠、横のときは解錠となります。



③ 電線の引き出し

以下のポイントをご確認いただき、配線孔を開口して電線を引き出してください。

☆ 壁面を開口するときのポイント ☆

- ① コンセント部が、地上 90 ~ 120 cm の高さに本体を取り付けることをおすすめしています。また、ドアは上まで完全に開けて操作するため、本体上部 200 mm 以上、本体正面は充電操作が可能なスペースをあけて設置してください。

- ② 本体フレームの配線孔を使用しない場合は、本体側面または下面のノックアウト穴をご使用ください。
※ノックアウトを開口させる場合は、ノックアウト外周をカッターなどで切り取ってください。

2. 本体フレームとアンカーの設置

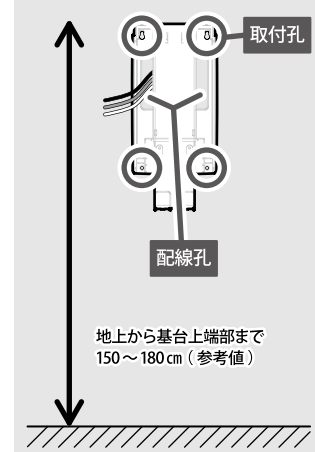
本体フレームとアンカーを設置、コーキング処理をおこなってください。

☆ 本体フレームの位置のポイント ☆

- ① 凹凸のない壁面に設置してください。
- ② コンセント部が、地上 90 ~ 120 cm の高さに本体を取り付けることをおすすめしています。また、ドアは上まで完全に開けて操作するため、本体上部 200 mm 以上、本体正面は充電操作が可能なスペースをあけて設置してください。

1 本体フレームの位置を決める

上記『☆本体フレームの位置のポイント☆』をご確認いただき、設置する位置を決めます。
※固定金具は取り外さなくてください。設置後に取り付けることはできません。

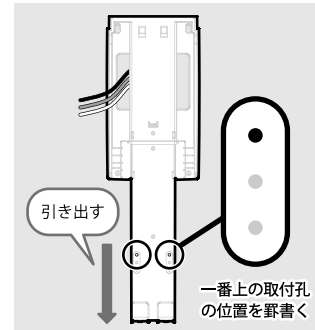


2 本体フレームを固定する

水平を確認し、本体フレームを固定します。

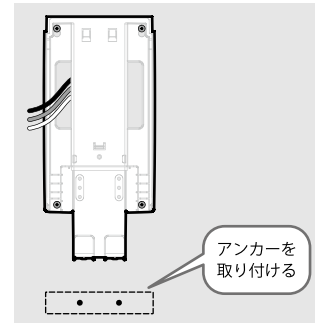
3 アンカー取付孔を罫書く

固定金具を下まで引き出します。一番引き出した状態で、一番上の取付孔の位置を罫書きます。



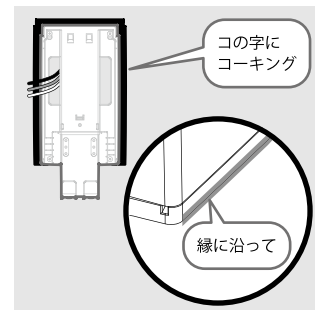
4 罫書いた位置にアンカーを取り付ける

罫書いた位置にアンカーを取り付けます。



5 コーキング処理をする

本体フレームの縁にそって、コの字にコーキング処理をおこなってください。本体フレームの縁よりコーキング材がでないよう気をつけてください。



△注意 コーキング材が厚い状態で本体を取り付けると、本体の取り付けができなくなります。また無理に取り付けた場合、破損する恐れがあります。

3. 配線工事

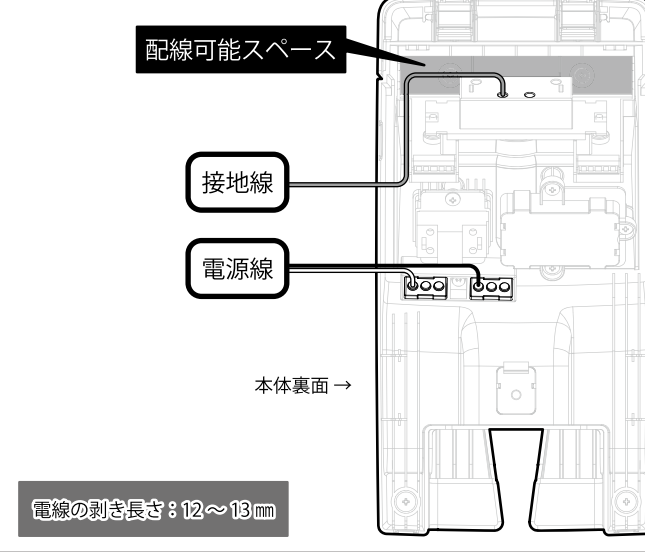
電源線および接地線（D種）は結線例にしたがって確実に接続してください。

適合接続電線

600V ビニル絶縁電線（IV）、
600V ビニル絶縁シースケーブル（VVF）
600V 耐燃性ポリエチレン絶縁電線、
600V ポリエチレンケーブル

電源線：φ2.0 mm、φ2.6 mm Cu（銅）単線専用
接地線：φ1.6 mm、φ2.0 mm、φ2.6 mm Cu（銅）単線専用

電源の配線は外周に沿って、端子台に接続してください。端子台は下部の2ヶ所です。

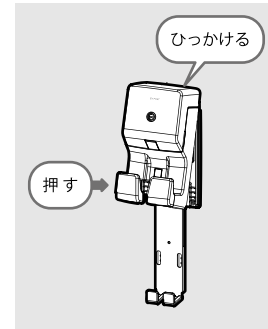


4. 本体の取り付け

P.3『設置準備』で取り外した本体を本体フレームに取り付けます。

1 本体を本体フレームに取り付ける

- ① 本体の上部を本体フレームにひっかけてください。
- ② 本体フレームのツメが本体にひっかかるまで、本体を押しってください。

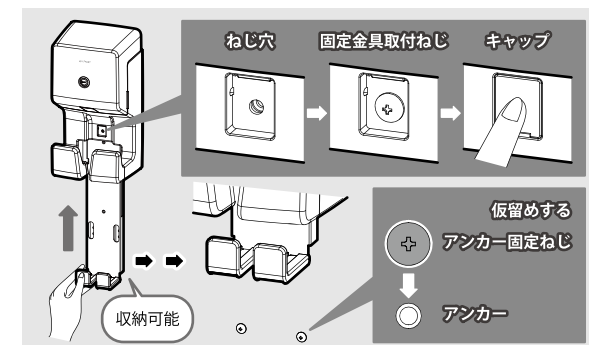


2 本体と固定金具を固定金具取付ねじで固定する

施工前に取り外した固定金具取付ねじを使用して本体ねじ穴部に本体と固定金具を固定し、キャップをはめてください。

☆ 設置後すぐにミース EV ポート S を使用しない場合
固定金具を本体に収納（出荷時の状態）してください。アンカー固定ねじは、アンカーに仮留めしてください。

☆ 設置後すぐにミース EV ポート S を使用する場合
別紙『取扱説明書』にしたがって、固定金具を設置してください。



5. 動作確認

動作を確認します。

1 キーを解錠、ドアを開けてテスターを接続する

- ① 付属の施錠キーをシリンダーキーに差し込み、右に 90度まわしてします。
- ② ドアの両端にある突起部を持ち、ドアを上まで完全に開けます。
- ③ テスターを充電コンセントに差し込みます。

2 テスターで電圧を測定する

☆ 電源スイッチ付きタイプ（ECLG）の場合

- ① 電源スイッチが「切」の状態、電圧が“0V”であることを確認します。
- ② 電源スイッチが「入」の状態、電圧が“200V”で出力されていることを確認します。

3 テスターを取り外し、ドアを開めてキーを施錠する

- ① 充電コンセントからテスターを取り外します。
- ② ドアの両端にある突起部を持ち、ドアを閉めます。
- ③ 付属の施錠キーをシリンダーキーに差し込み、左に 90度まわして施錠します。